

DNAデータベースと広域ネットワーク

宮澤 三造

DNAデータバンク（米国GenBank, 欧州EMBL, 日本DDBJ）はデータ収集, データ入力を分担し共同でDNAデータベースを構築している. 現在データバンクは同一内容のデータベースを作成するため3者間で毎日入力データを電子メールで交換している. また電子メールのためのデータベースサーバー、anonymous-ftp は最新のデータを世界中の研究者に提供する上で欠くことができない. 勿論研究者からのデータ収集にあたっては広域ネットワークはおおいに利用されている. 一方、ヒト全遺伝子解析計画をはじめ各種ゲノム解析計画が米国, 欧州、日本で発足している現在、大量配列解析計画に対処すべく、データ収集, データ交換の自動処理を含め、データベースの再構築を行いつつある. DNAデータベースにおける広域ネットワーク利用の現状と将来を議論し、またデータベース提供における広域ネットワーク利用の現状を述べる. 併せ、日本におけるインターネットの現状とネットワーク利用において役立つツールについても簡単に紹介する.